



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

九州学校検診協議会（心臓専門委員会）が実施する
児童生徒の心肺蘇生事例調査のご協力について（お願い）

時下 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成 22 年 4 月 9 日付け福岡医発第 63 号(地)にてお願いしております「学校管理下での AED の使用状況の実態調査」に関して、対象期間を平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日とし、別紙 1 及び別紙 2 をもとに本年も継続して実施することとなった旨、別添の通り九州学校検診協議会から連絡並びに協力依頼がありました。

本件について本会は、平成 26 年 3 月 27 日開催の本会第 38 回全理事会において協議の結果、本調査に協力することといたしました。

つきましては、貴会におかれましても本件の趣旨をご理解いただき、本調査への協力について、貴会管下の学校医に対する周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、福岡県教育委員会教育長並びに福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課長に対しましても本調査への協力を依頼しておりますことを申し添えます。

記

【調査方法】

調査対象期間内に発生した学校管理下及び家庭における児童生徒の心肺蘇生を要した事例（突然死もしくは救急隊要請）について、別紙調査票により、本会地域医療課まで F A X（0 9 2－4 1 1－6 8 5 8）にて報告をいただく。

【調査内容】

別紙調査票参照

【調査期間】

平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日に発生した分について

【提出期限】

平成 26 年 6 月末まで

小郡三井医師会より

学校保健担当理事 松行眞門
救急医療担当理事 島田昇二郎
会長 蒲池 壽

福MC学発第120号

平成26年3月12日

九州各県医師会長 殿

九州学校検診協議会

会長 松田 峻一良

九州学校検診協議会（心臓専門委員会）より
児童生徒の心肺蘇生事例調査の実施についてご依頼

早春の候 貴職益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

九州学校検診協議会の運営につきましては深甚なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、心臓専門委員会では、平成22年4月1日より九州各県にご依頼しております「児童生徒の心肺蘇生事例調査」について、対象期間：平成25年1月1日～平成25年12月31日において、別紙1：「児童生徒の心肺蘇生事例調査 概要」、別紙2：「児童生徒の心肺蘇生事例調査票」をもとに、本年も継続して実施することになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、教育委員会、学校医部会、消防機関に対し本調査へのご協力への依頼について、貴県医師会のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、対象期間の調査票及び心電図を貴県医師会で取りまとめていただき、下記送付先にメール（PDF）、郵便にてご報告下さいますようお願い致します。

また、提出期限を誠に勝手ながら6月末迄とさせていただきます。

今後も当協議会に対しまして一層のご理解とご協力を頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

【送付先】

九州学校検診協議会

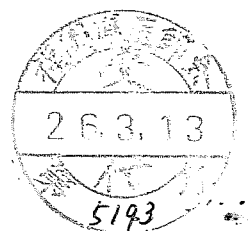
事務局：福岡県メディカルセンター

〒812-0016

福岡市博多区博多駅南 2-9-30

E-mail fmc@fukuoka.med.or.jp

電話 092-471-8599



児童生徒の心肺蘇生事例調査票 概要

九州学校検診協議会心臓専門委員会

2014.3.12

【調査目的】

日本スポーツ振興センターが行っている学校管理下での災害共済給付の状況や日本小児循環器学会の希少疾患サーベイランスの状況等をみると、全国の学校管理下での心臓突然死数が平成 15 年以降は著しく減少している。

これは、学校心臓検診を中心とした、医療現場と教育現場の日々の取り組みの成果によるものと考えるが、平成 16 年から非医療従事者において使用が可能になった AED の学校現場における普及および心肺蘇生法の啓発・普及もその一躍を担っていると考えられる。

一方、死亡に至らないまでも救急隊を要請する予期しがたい事態は少なくないと思われるが、その実態は十分把握できていない。

したがって、学校管理下および家庭における児童生徒の心肺蘇生事例（失神・心肺停止などによる AED 使用および救急隊要請事例）を集積し、今後の心臓突然死をはじめとする緊急事態発生の予防および事態発生時の対応策改善を目的として本調査を実施する。

【調査方法】

- 学校管理下および家庭における児童生徒の心肺蘇生事例（失神・心肺停止などによる AED 使用および救急隊要請事例）が発生した場合、以下の機関の協力を得て、本調査票を用いた九州各県医師会への可及的早期の報告を依頼する。
 - ◇ 九州各県および政令指定都市の教育委員会
 - ◇ 九州各県医師会もしくは郡市医師会・学校医部会
- 九州各県消防機関を通じて、小児（0 歳～18 歳）を対象とした事例（家庭・学校管理下（登下校、部活動を含む。）に関する本調査票を用いた九州各県医師会への事例報告（事例発生時および前年発生事例）を依頼する。

【調査内容】

調査票のとおり。

【調査対象期間と集計】

毎年 1 月 1 日から 12 月 31 日を単位として集計する。

【その他】

- 対象の児童生徒はもとより、本調査に関与した方に責任が問われるなどの不利益が生じないように個人情報の取り扱いに関して細心の注意を払う。
- なお、事例発生直近の心電図収集に努める。

() 県医師会 御中

報告日 西暦 年 月 日

児童生徒の心肺蘇生事例調査票

心肺蘇生法の啓発およびAEDの普及により、児童生徒の学校管理下の突然死は減少しています。一方、死亡に至らないまでも救急隊を要請する事態は少なくないと思われますが、その実態は十分把握できていません。本調査票は、学校管理下および家庭における児童生徒の心肺蘇生を要した事例（失神・心肺停止などによる救急隊要請事例）を集積し、その予防と緊急事態発生時の対応策の改善を目的としています。この報告は、責任の所在を問題とするものではなく、本目的以外に使用することはありません。該当する事例は、他機関への報告の有無にかかわらずご報告いただきますようお願いいたします。

九州学校検診協議会・心臓専門委員会

学 年	幼稚園（保育園）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・その他（ ）		
年 齢	歳（ 年生）	性 別	男 ・ 女
既往症		学校生活 管理区分	不明 管理不要・E（運動部；可/禁）・D・C・B・A コメント（ ）
経 過	発生日時：西暦 年 月 日（ 曜日）午前・午後： 時 分頃 登校中・授業中（科目 ）・休み時間・放課後・部活時・下校時・その他（ ）		
	発生場所：教室・廊下・校庭・運動場・体育館・プール・自宅（ ） その他（ ）		
	① 心肺蘇生・・・なし / あり ⇒ 施行者（教師・生徒・他職員・救急隊員・家族・その他（ ）） ② AED使用・・・なし、あり（作動：なし、あり→発見から作動までの時間（ 分）） ⇒ 施行者（教師・生徒・他職員・救急隊員・家族・その他（ ）） ③ 事例発生直前の児童生徒の行動、発生後の経過など（具体的に、別紙も可）		
その後 転 帰	（ ） 医療機関に搬送 ⇒ 生存（後遺症：なし・あり・不明）・入院中・死亡・不明 （ ） 医療機関への搬送なく死亡確認		
備 考			

報告者所属機関名		
報告者氏名		
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	

※ご協力ありがとうございました。